

シンポジウム 日本の植民地「支配現場」における主体性

2026.2.27(金) 13:00～



会場 東北大学東北アジア研究センター4階436室
&オンライン併用

第一部 特別講演 (13:00-14:20) 呉博皓 (北京大学)

Energy Development in Northeast Asia and Multilateral Coordination during the Global Cold War
(冷戦期北東アジアにおけるエネルギー開発と多角関係)

呉博皓 (Bohao Wu)はハーバード大学にて博士号を取得。現在、北京大学歴史学系助理教授。専門は冷戦史・外交史。『世界歴史』、『中国経済史研究』、『史林』のほか、*Modern Asian Studies*, *Cultures of Science*などの学術誌に多数の論文を発表しており、*Journal of Cold War Studies*, *Journal of Southeast Asian Studies* 等への掲載も予定されている。



*講演は英語で行われるが(通訳無し)、質疑応答は日中英で対応可能。

第二部 研究発表 (14:30-17:30)

趣旨説明	14:30-14:35
史 方正 (東北大学大学院文学研究科・院)	14:35-15:05
植民地台湾の蔗作改良における知の受容——施肥推進を中心に	
張 小栄 (東北大学東北アジア研究センター・学術研究員)	15:05-15:35
「満洲国」建国段階における関東軍統治部設置の意義	
呉 博皓 (北京大学歴史学系・Assistant Professor)	15:35-16:05
帝国の遺産とその媒介——満洲人脈と戦後アジアにおける日本の経済進出 (Brokering the Imperial Heritage: Manchuria Group and Japan's Pursuit of Economic Leadership in Postwar Asia)	

*研究発表は日本語で行われる。

コメント

加藤 聖文 (駒澤大学文学部・教授)	16:15-16:40
林 采成 (立教大学経済学部・教授)	16:40-17:05
質疑応答	17:05-17:30

▼オンライン参加は事前登録制 申込締切: 2月25日(水)

右のQRコードまたは下記のGoogleフォームよりご登録ください。
登録後、参加方法のご案内をメールにてお送りします。
<https://forms.gle/7pWiy89o6q1Vipjn8>



お問い合わせ: 東北アジア研究センター 張小栄: xiaorong.zhang.c6@tohoku.ac.jp
主催: 東北大学東北アジア研究センター共同研究「日本の植民地『支配現場』における主体性の研究」